

## InnovationS-i

### 第70回かわさき起業家オーディション 受賞者決定

川崎市産業振興会館で3月5日、第70回「かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアアスーズ市場」(http://www.kawasaki-net.ne.jp/bizidea/)の最終選考会が開催された。

岩手県二戸市に本社を置くリードの戸泉秀明代表取締役が、かわさき起業家優秀賞を受賞。戸泉氏は、帽子に安全性という視点を持ち込んだ独自の頭部保護帽子「ほっと安心帽」を、学童用を中心とした市場に展開するビジネスプランを発表した。

3重構造の衝撃吸収材を帽子の布地に組み込み、外部からの衝撃を通常の布製帽子の20分の1に抑えた。従来は防災対策や障害者保護などの用途に限られていた頭部保護帽子に、軽さやデザイン・ファッション性、手



「かわさき起業家優秀賞」を受賞したリードの戸泉秀明社長のプレゼン風景

ごろな価格などの付加価値を持たせ、幼稚園から小学校まで約1000万人といわれる学童向け市場を中心に普及を目指す。

同社では学童用のほか、工場内における軽作業用、スポーツ用、介護用の4市場を想定。戸泉氏によれば、今年から二戸市では新入学童全員に「ほっと安心帽」が配布される予定だ。工場用では、ファイザー社への納入実績もあるという。

壇上で戸泉氏が「ほっと安心帽」をかぶり、財団職員が投げたゴルフボールを頭で受けて、同製品の高い衝撃吸収性をアピールするひとコマも。戸泉氏は「『帽子で頭を守る』ことを社会に提唱し、より多くの人に安心を提供していきたい。将来、技術が向上して、商品が今とはまったく違う形になったとしても、私がこういうものを発想して世に出したという実績が残るなら、それが生きた証であり、ロマンだと思う。世の中の流れはついてくると確信している」とプレゼンをしめくくった。

そのほか3社が「かわさき起業家賞」を受賞し、2社が「か

わさきビジネス・アイデアアスーズ賞」に輝いた。

同オーディションは2001年からほぼ2カ月に1回のペースで実施されており、今年で10年目を迎えた。今秋には記念イベントも予定されているという。

川崎市内に限らず全国から広く参加者を募集しているのが同オーディションの特徴で、今回の受賞者6社のうち3社が東北地方からの参加者。受賞者の地域分布は川崎市が45%、同市以外の神奈川県が23%、東京都内が25%、その他地域が7%と続いている。

優れたビジネスアイデアに対しては、川崎市の融資制度を利用した資金調達の支援や、ベンチャーキャピタル等との出会いの場の提供などを通じたビジネスアイデアの実現をサポート。加えて、川崎市産業振興財団のマネージャーが受賞者と一緒に販路開拓を支援するほか、財団職員がチラシやPR資料の作成についてのアドバイスも行っている。こうした実践的な支援内容に対する受賞者の評価も高い。今回の主催者賞の受賞者は次の通り。



厳正な審査を経て、6社が主催者賞を受賞した

- ▷かわさき起業家優秀賞/株式会社リード 戸泉秀明氏
- ▷かわさき起業家賞/匠ソリューションズ株式会社 Well-being事業部 岩本正美氏、ウェリントック・ジャパン株式会社 李恒氏、株式会社と
- ▷かわさきビジネス・アイデアアスーズ賞/株式会社dow-corporation 才野美和子氏、企業組合エキシママーケティング 三浦智夏子氏

企業名	ビジネスアイデアのテーマ
株式会社リード (岩手県二戸市)	頭部保護帽子「ほっと安心帽」
匠ソリューションズ株式会社 Well-being事業部 (宮城県仙台市)	布オプキでLOVEをECOライフ →ココロにもカラダにも地球にもLOVE
ウェリントック・ジャパン株式会社 (山形県米沢市)	新ビル監視システム GreenMakerの事業化に向けたビジネスプラン
株式会社とクリエイティブ (横浜市中区)	成長型 CRM システム 「サポート You」の開発
株式会社 dow-corporation (東京都港区)	こだわりある革新的箱組式を挙げたい! 箱組式に参列したい!
企業組合エキシママーケティング (青森県弘前市)	地産化製品を活用し障害者の雇用促進を支援するビジネスプラン